

第 89 回大腸癌研究会 広報委員会

議事録

開催日： 2019 年 7 月 5 日 (木) 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター3F 303 (新潟)
 出席者： 植竹宏之 (委員長/東京医科歯科大学)、石黒めぐみ (東京医科歯科大学)、
 間山裕二 (三重大学)、深澤智美 (防衛医科大学校)
 欠 席： 濱口哲弥 (埼玉医科大学国際医療センター)

1. 報告事項

1) 2018.2.07

「退会届」書式 (WORD・PDF) を『各種手続きについて』内に掲載。
 退会届の提出先 (大腸癌研究会事務局) を明記した。

2) 2018.2.14

「遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2016 年版」の英語版を HP 掲載した。
 (Journal of the Anus, Rectum and Colon 誌の全文掲載へのリンク)

3) 2018.3.13

「会則」の一部変更について、「会則」ページ内に掲載した。

4) 2018.3.14

『大腸癌・大腸ポリープの顕微鏡アトラス』を単独コンテンツとして
 独立させ、トップページ左側に新バナーを設置した。

『一般の皆様へ』バナーの図柄も変更。サイズを大きめにした。

5) 2018.5.21

大腸癌全国登録事業「2010 年治療例」の登録受付開始のお知らせを掲載。

6) 2018.5.28

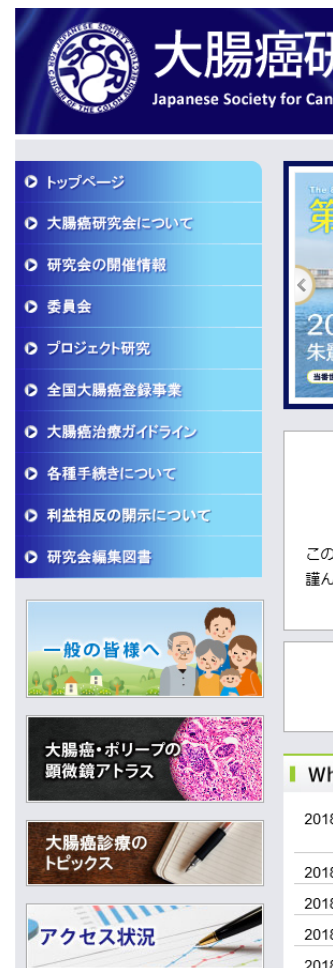
ガイドライン速報:AXEPT 試験、TRICOLORE 試験の情報を掲載した。

7) 2018.6.08

アクセスレポート (2018 年 1 月～2018 年 5 月) を掲載した

8) 2018.7 月上旬 (予定)

トップページに掲載していた追悼文『渡邊聡明先生を偲んで』(杉原先生)
 を、『大腸癌研究会について』内『会長挨拶』のページに移動。



2. 討議事項

1) プロジェクト研究『関連論文』について

前回委員会にて、更新が不十分な可能性について指摘された。前回委員会終了後、研究

会事務局に問い合わせたところ、掲載形式等含め、HP 業者（大村印刷）とも体制を検討中とのことであった。

委員内で検討したところ、『(大腸癌研究会における) 研究の成果 (仮)』という独立したコンテンツを設け、その中に、プロジェクト・委員会ごとに関連論文や成果物を掲載する形が良いのではないかとの意見で一致した。目的のものを探しやすく、かつ各プロジェクト・委員会の activity も伺える。

→ 上記の方向で、ページ構成を検討する。石黒がたたき台を作成し、その後委員内で検討する。広報委員会としての案を固めたのち、会長・研究会事務局・HP 業者に提案する。

2) 『大腸癌診療のトピックス』について

「トピックス」という名称から受ける印象に即した内容ではなく、現在格納されている内容として妥当なのはリンク集（会員向け）くらい。名称を『会員向けリンク集』に変更してリンク集のみ残し、他は 1) で検討中の『研究の成果 (仮)』へいずれ移すことで良いだろうとの意見で一致した。

→ コンテンツ名称を『会員向けリンク集』に変更。中身もリンク集のみ残す。

3) 研究会の抄録集の電子版掲載の可否について

抄録集の製作・郵送費用は約 200 万円/会（うち郵送費が約 20 万円）。当日の当日受付での冊子体抄録集の売上は、約 20～30 万円/会である旨を事務局に確認した。

現在の冊子体の事前郵送（世話人・施設代表者）は継続せざるを得ない。

開催予定の研究会の抄録集を（会期前～当日に）掲載することについては、杉原会長より当座 pending との意向があった。過去（+研究会終了後）の抄録集については、掲載を進めるよう指示があった。

①現在～第 65 回（2006 年 7 月）の抄録集は、印刷会社に PDF 原稿あり（要加工）。

②第 64 回～第 51 回（1999 年 7 月）は冊子体で研究会事務局に保管あり。

③第 50 回より以前のもは 1/3 程度の冊子体が研究会事務局に残っている。

まずは①の掲載を目指すこととした。OCR 加工などについても研究会事務局より複数の会社に見積りを依頼しているところ。

→ コスト等も含め、掲載形態について研究会事務局との間で検討を進める。

会期前～当日掲載についても、引き続き検討する。

4) 優秀論文賞の掲載

杉原会長より、各年の優秀論文賞の一覧を掲載するよう指示があった。上記 1) 『研究の成果 (仮)』コンテンツの立ち上げに併せ、一覧を掲載+優秀論文賞マークを付ける etc、掲載形式を検討することとした。

→ 上記 1) と併せ、ページ構成を検討する。

5) モバイル端末への対応

深澤委員より、スマホ・タブレットで見たときに文字ずれ等があるとの指摘があった（事前メールにて）。HP 業者（大村印刷）に問い合わせたところ、大腸癌研究会 HP は特にスマホ・タブレット対応はしておらず、通常の PC 用表示をモバイルで見ているだけのため、機種によっては文字ずれなどが起こりうる／完全にモバイル対応をしようとする全ページリニューアルと同等の費用・手間がかかるとのこと。

現状では読めないレベルのものではないので、当座は現状のままとすることとした。

6) 委員の増員

今後、定期的な内容のアップデートや、修正・改変箇所の拾い上げ作業を行っていくにあたり、石黒委員より委員の増員が提案された。定期的な作業として主に想定されるものには以下のようなものがあり、係を決めて分担する方針で合意を得た。

- ✓ 『会員向けリンク集』のアップデート
- ✓ 『一般の皆様へ』内コンテンツ（一般向けリンク集含む）のアップデート
- ✓ 『研究の成果（仮）』の整理、アップデート

これらを2人ずつくらいで分担するものとして、3～4人の増員をする方向とした。

→各委員が1～2名ずつ、会員施設から候補者を挙げる。

文責：石黒めぐみ